



おおさか

会報 第25号 2007年

The Friendship Force of Osaka

パイクス・ピーククラブ(米コロラド)を受け入れて

受入れED 米井登美子

10月8日～14日の一週間、アメリカコロラド州パイクス・ピーク・クラブより9名のアンバサダーを受入れしました。皆様の協力のお陰で無事に終える事が出来ました事を心より御礼申し上げます。

受入れ前はなかなかアンバサダーリストが送って来なかったり、出迎え、見送りの時間がぎりぎり迄判明せず、何回も何回ものメールのやり取りでやっと5日前に知らせが来るまで、いらいらしたり、心配をしたりしましたが。8日に山形より新幹線で京都、新大阪、新神戸駅とそれぞれ下車、無事、元気にやって来られた顔を見てほっとしました。

受入れホストは、大下すみ子、森本吉彦・篤子、山本万亀子、畑忠芳・明子、細辻幸子、内山充子、金山忠夫・順子会員の方々、他に多くのデイホスト、委員の方々の参加がありました。

9日には京都ツアー。金閣寺、清水寺、三十三間堂を英語ガイド付きの観光バスで回りました。観光シーズンのうえに修学旅行生も多く、金閣寺、清水は大変混雑していましたが、三十三間堂は比較的静かでした。11日は奈良オプションツアー。古川委員のご友人の紹介で、特別の計らいを受けて、東大寺の執事長・筒井寛昭氏に大仏殿を案内していただきました。大仏の台座に上げていただき、連弁に触れることまで出来た上、回廊に座って説明を受けました。お話はデイホストの木原会員の通訳でアンバサダーにもよく解り、たくさんの質問があがりました。パイクスピーククラブからの記念品の代わりに寄付を希望されていた100ドルは、東大寺療護園の建設のために渡されました。13日のパーティは、大阪駅前第一ビルのレストランで開かれ、和気あいあいの楽しいひと時を過ごすことができました。

帰りは、成田空港3名、関空2名と3名(時間を変えて出発)、広島へ1名とそれぞれの駅より新幹線などで次の目的地へと出発していかれました。

ホストやデイホストの皆様からのアンケートによりますと、お互いの心の交流を実感し、素晴らしい体験が出来た、また参加したい、などの回答を頂き、ほっとしました。

天候にも恵まれ、なごやかな雰囲気です受入れが出来ましたことを感謝致しています。皆様これからも大阪クラブ会員同士の親睦をより深め、フレンドシップ フォースの活動を発展させて参りましょう。



清水寺にて

あんなこと・こんなこと

日常生活を紹介 「とにかく我々と同じ生活をしていただく。」これを基本といたしました。我が家に受け入れた Robert と Judith Werschky ご夫妻は、きわめて謙虚な方々でした。「へえー、こんなアメリカ人もいるのか！」と新たな発見でした。また、お二人の英語がすごく分かりやすかったのもうれいことでした。公式行事以外に、神戸市内散策と神戸港ボートツアー、観光などを一緒にしました。(森本吉彦)



金閣寺

身振り手振りで意思疎通 近くにお住まいの森本さんとの

共同受入れということで、初めて参加しましたが、あっという間に終わってしまいました。良い方々でしたの



東大寺にて

で助けられました。私の英語は片言ですが、身振り手振りでどうにか通じました。娘の家族と一緒に受け入れましたので、よかったです。女性が二人いますと、外出から帰り、そのままおしゃべり、お茶とかに移れます。奥様のほうが英語の先生をなさっていたとかで、ゆっくりお話してくださいました。お客様に台所に入っていたかのに慣れていないので、手伝うと言ってくれましたが、少し困りました。でも楽しい経験でした。孫がいますが、良い体験だったと思います。お二人のお部屋に入り浸っていましたから。(山本万亀子)

初めてのホスト…案ずるより生むが易し

はじめはどうなることかと思っておりましたが、とてもよい方にめぐり会え、外国の方を身近に感じながら楽しく過ごしました。京都クラフトセンター、寺町アンティーク店めぐり、アンバサダーの希望で四条河原町の無印良品や 100 円ショップへ、錦市場で菓子型探し、宇治平等院と源氏物語ミュージアムなど



パーティの余興を楽しむ

京都を堪能していただきました。同じ京都でホストをしている細辻さんや他の友人たちの協力で、食事や外出も乗り切りました。アンバサダーからは、ホストに迷惑をかけない姿勢を学ばせてもらいました。(内山充子)



清水参詣の前に
手を清める

初めての受入れでしたが、Jerald と Marilyn が同年輩のご夫婦で、家庭や子供のことなど共通の話題が多く、興味深い話を聞くことが出来た。日本のことをよく知ろうという積極的な姿勢だったので、日本の文化や習慣についてかなり理解を示してもらえてうれしかった。なんでも喜んで食べてくれて、食事の時間がいつも盛り上がり楽しくかったです。公式行事では行かなかった伏見稲荷大社の千本鳥居はめずらしかったようでした。(金山忠夫・順子)



パーティでアメリカ国歌を披露

日本通の活動家 Bobさんは、日本には何度も来ておられ、日本語も少し話される。JRに乗り放題のRailway passを持っておられ、自分で行動されることが多く、こちらがフリータイムにどこかへお連れする必要がなく、大助かりでした。その反面、気の向くままに行動されるので、奈良ツアーに参加しないことが前日になってわかり、あわてて取り消しの連絡をするというハプニングもありました。今まで多くのホームステイを受け入れましたが、「こんな人もいるんだなー！」と思う経験でした。(畑忠芳)

「よく食べ、よく飲み、よく喋る」が平和の源 我が家に来られたDaniel & Margaretは2人とも教師を退職後、ご主人は現在FFIのフィールド・レップ、奥様はパイクス・ピーク・クラブ会長として、ボランティア活動しておられます。日本料理大好きで、私がキッチンに立つと、奥様はぴったりと私の横に座り、“I'm watching!”と手元を見られるので、手抜きも出来ず、「味噌汁の作り方」を教える筈が、おしゃべりしながら作るの、すっかり「すまし汁」にしてしまい、「味噌はいつ入れるの?」と聞かれ、大笑いでした。毎日よく食べ、よく飲み、よく笑い、よく語りました。来られる前は、どんな人達だろうと不安もあり、「盆と正月一緒に来たよな」大掃除でへとへと!しかし、本人が来られてからは、毎食後、話が尽きず、まさに、FFのExchangeは観光のみでなく、人と人との対話から心の交流が生まれ、その先には「平和」が・・・という実感を致しました。また山形のホストからメールが入り、お二人の食べ物の好みや奥様の足の具合などの情報をお知らせ下さり、大変助かりました。今後の参考にしたいと思いました。(細辻幸子)



奈良ツアーのランチバイキング



あなたの100ドル紙幣は贖札? 受け入れ準備で、相手クラブからの情報が遅いことで、大阪のEDの方がずいぶん苦勞されていたのを知っていたので、EDのヒルダさんとはどんな方か思っていました。大変おらかな方で、英語もゆっくり話されるし、日本食大好きで、やりやすい方でした。ただ家族の話になると、ご自身を含め、子供さんたちが、アメリカでは日常の離婚、再婚をされているので、話がこんがらがって、誰が誰やら訳がわからなくなるので、紙にファミリーツリーを書いて聞いていました。お金を日本円に換えるため銀行に行ったとき、彼女が持ってきた100ドル紙幣は贖札が出回った年の発行のものだったため、換金してもらえず、その後はすべて、カードと手持ちの日本円を数えながらのお買い物でした。唯一換金できた100ドルは東大寺への寄付金でした。(大下すみ子)

デイホストで京都、奈良ツアーに参加しました。9名の皆さんがすごく好奇心旺盛で、観光の際も熱心に説明を聞いてくださり、質問も多く、ガイドするほうも非常にやりがいがありました。(木原利率)

奈良では、途中から健脚組と帰宅組に分かれ、春日大社、浮島まで足を伸ばし、十分堪能してもらえたと思う。京都の三十三間堂の説明が難しかったことが残念。これから勉強会や寺めぐりなどをしたい。(小林幸代)

2008年FF大阪クラブ総会および講演会

2008年総会を下記の要領で開催いたします。今回は趣向を変え、場所をレストランにして、総会のあと昼食をはさみ、あまりなじみのない国インドについての講演を企画いたしました。この機会に会員の皆様の親交を深め、春の受け入れ活動を盛り上げたいと存じます。万障繰り合わせの上、ご出席賜りますようご案内申し上げます。なお、出欠につきましては、返信用はがきに署名の上、1月15日までにご返送下さいませようお願い致します。

日時 1月20日(日曜日)午後12時30分～2時30分 昼食代1500円(当日徴収)

場所 四季自然喰処たちばな ヒルトンプラザ イースト店

大阪市北区梅田ヒルトンプラザ イースト B2F : 06-4796-5770

議事 2007年度の活動報告、会計報告 2008年度の役員選出、活動計画、予算、各大会の報告

講演会 インドの暮らしについて 総会昼食終了後



講師 Mr. Quamrul HASAN (ハサン氏) 神戸市に10年以上在住の経営コンサルタント。京都大学農学博士。日本語もお上手だそうです。



第21回日本大会 山口クラブ主催

第21回日本大会は山口県宇部市で開催され、大阪クラブからは大下会長、森本副会長、小林委員が参加しました。FFIからはジョージ・ブラウン夫妻、各クラブと地元山口クラブからの参加者を含め、総勢200人にもなりましたが、今までと違って分科会なしで全体会議のみ、全員が一堂に会して、同じ議題で話し合うという形式でした。

代表者会議の時間も限られていましたが、懸案の日本大会開催頻度については審議され、多数決で毎年開催が決まりました。ただ主催クラブの都合やFFIとの行事の兼ね合いにより、1年の延期は認められることになりました。次回開催は西東京クラブの担当ですが、2008年の秋は世界大会との兼ね合いもあり2009年の1月か2月に開催されることになりました。

夕方からは懇親パーティで韓国、台湾からの参加者もあり、旧知の友との再会や新しい出会いもあり、なごやかながら、活気あふれるパーティで地酒や海産物のお料理を楽しみました。

到着からパーティまで各クラブごとに担当の方がお世話をしてくださり、山口クラブの心のこもったホスピタリティを感じさせる大会でした。

翌日、大阪クラブの3人は萩観光バスツアーに参加、急ぎ足ながら松蔭神社、東光寺、萩城址など、維新のふるさとを堪能してまいりました。(大下)



編集後記 12月のはじめに家の近くで五分咲きの桜の木を見つけました。暖冬のせいかと思いましたが、近づくと「この季節に咲くヒマラヤザクラ。CO2を通常の数倍吸収してくれる」という手書きの説明文が付けられていました。FFでも日常生活でも、人と地球にやさしくしたいと思いました。S

編集・発行 フレンドシップ フォース 大阪クラブ
発行日 2007年12月18日 第25号
事務局 〒594-0013 和泉市鶴山台3-1-40
朝倉 隆夫 tel&fax 0725-43-8331
Takao-kiyomi@ican.zaq.ne.jp
<http://www.friendshipforce.jp/osaka>
編集人 F F 大阪クラブ 広報委員会